

七月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二

忘れていたことが、ふとしたきっかけでありありと蘇ることがあります。

皆様には如何お過ごしでしょうか。
令和元年七月のご案内を申し上げます。

第二百七十九回

人生講座

日時 七月十四日(日) 昼二時〜四時

講師 本願寺派布教使

福間 玄猷 師



■福間(ふくま)先生、四十七歳。広島県三次(みよし)市、源光寺住職。二十三年前、縁あって当山より入寺しました。平成二十三年に継職法要が厳修され、源光寺様の法灯を継承されました。お話が分かりやすく聞きやすいと好評です。

■夏の日差しが容赦なく降りそそぐ昼下がりに。冷房の効いた本堂でイスに腰かけ、仏さまのお話を聞いてみませんか？

●あなたに心豊かな人生を(中央仏教学院通信教育)

中央仏教学院の通信教育は、すべての人が心豊かに生きるために開かれた教育制度です。私たちは、そのためのお手伝いをさせていただきます。

95年の歴史を持つ本学院は、1972年に通信教育を発足させ、多くの人々に心豊かな人生を約束してまいりました。その数およそ3万6千人に及びます。この方々はみな親鸞聖人のみ教えを学んでいます。(中略)

さあ、あなたも今から私たちと親鸞聖人のみ教えを学び、厳しい現実の中で本物の豊かな人生を歩んでみましょう。

▼お問い合わせ：中央仏教学院通信教育部・入学係

☎075-801-3507(午前9時〜午後4時平日のみ) 京都市右京区山ノ内御堂殿町27

お盆のお参りは、お早めじ。

南無阿弥陀仏をとらふれば

観音・勢至はもろともに

恒沙塵数の菩薩と

かげのごとくに身にこそえり

「先祖方を偲びつつ、「お陰さま」と感謝の気持ちで、お迎えください。

ご家族お揃いでお参りしていただきたく、なるべくご希望に添えるようにいたしますが、お時間の指定までのご遠慮下さい。

当日の天候や道路事情によりお約束の時間より前後する場合があります。

また、初盆をお迎えになる方を優先させていただいています。

何卒ご理解とご協力のほど、

よろしくお願い申し上げます。

電話：072-622-3725

7月29日、昼2時OPEN!ふろかふろ



浄土和讃に聞く ⑭

◆弥陀初会の聖衆は

算数のおよぶことぞなき

浄土をねがはんひとはみな

広大会を帰命せよ

『浄土和讃』註釈版559頁

20世紀が、あと10年ほどで終わろうとしていた頃、

「核の冬」という言葉が、かなり現実味を帯びたものとして広く受け止められていました。アメリカ合衆国を中心とした日本を含む西側諸国と、かつてのソビエト連邦を中心とした東側諸国との対立が激化し、第3次世界大戦が勃発した場合、核兵器の使用は避けられないと考えられていました。当時、36回も人類を滅ぼすことができるといわれた大量の核兵器が使用され、核爆発そのものや大規模火災で巻き上げられた灰や煙などの微粒子が、長期間にわたって大気中に滞留。日光は遮られ、地球全体の気温が低下。氷河期が訪れるというものです。植物は死滅し、生態系のバランスが崩れた世界では、かろうじて生き延びた人類でさえ、もはや未来はありません。

毎朝、一筋の日の光が地表に至りとき、温もりもたらされます。夜が明けなければ、死ぬしかなかった無数のいのちが、今日という一日を生かされているのだと言えましょう。阿弥陀仏は、この世に生を受けた意味も知らず、いたずらに生をむさぼり、ただむなしくいのち尽きていくだけの私たちに、浄土の温もりを届けてくださいました。日の光に照らされて「ああ、温かい」とつぶやかずにはおれないように、阿弥陀仏の説法に集まった無数の聖者がたは、お念仏を称えられたのだと思います。

▼阿弥陀仏の最初の説法の座に集まった聖者がたは、とても数えつくすことができない。浄土に生まれようとするものはみな、あらゆる聖者がたをその場に集める広大会に帰命するがよい。

西福寺ホームページはこちら▶
<http://runbini.com/saifukuji/>



八月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九十三番一
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 〒567-0012 茨木市東太田二丁目九十三番一

自他一如、怨親平等の絶対の真実は、南無阿彌陀仏という名目となつて、衆生にみずから知らしめていくと良き人の仰せです。皆様には如何お過ごしでしょうか。
 令和元年八月のご案内を申し上げます。

盂蘭盆会

日時 八月十五日(木) 夜七時〜九時
 講師 当院住職自動



■「お盆は、『盂蘭盆経』の説話による行事です。わが子への愛ゆえに餓鬼道(がきどう)に堕ちた母。その母の境涯を知り、苦悩する目連尊者(もくれんそんじや)。じゅんじゅんと救済の法を説かれるお釈迦さま(管純和著『仏事の小箱』)。「親の恩に思いをいたし、どうぞご家族皆さままでお参り下さい。「ガンジスに還る(2016年・インド)」上映予定。

●お盆のお参りについて

「正信念仏偈」と下記の「四句念仏・回向」そして「ご文章」をお勤めいたします。どうぞ、有縁の方々と一緒に参り下さい。
 「正信念仏偈」は、「十二礼(じゅうにらい)」の節でお勤めいたします。「行譜」・「草譜」でのお勤めの際は「善導独明佛正意」で調声人が独唱いたしますが、この場合は、そのまま続けてともに唱和いたします。なお、人生講座はお休みです。

西福寺歡喜会(かんぎえ)

平素より宗門ならびに当山西福寺の護持発展のため、格別のご配慮を賜わり有難く厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り8月13日、「歡喜会」をお勤めいたします。つきましては、「ご忙のところ誠に恐縮ですが、当日各世帯代表者1名のご参拝をお願い申し上げます。今後ともご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

記

- 一、日時 8月13日(火) 午後6時〜
- 二、会所 西福寺本堂
- 三、持物 聖典・念珠・式章(持参ください)。

※西福寺上野門徒のみ。

毎月28日、昼2時OPEN!がまかふり。

念佛 律曲 平調

南无阿彌陀佛

南无觀世音菩薩

南无大勢至菩薩

南无清淨大海

衆菩薩

願以此功德

同發菩提心

願以此功德

往生安樂國

同發菩提心

往生安樂國

西福寺ホームページはこちら
<http://runbini.com/saifukuji/>



茨木市更生保護サポーターセンター

茨木市では更生保護活動のために「茨木市更生保護サポーターセンター」を開設しています。茨木地区保護司会が運営し更生保護に関する業務、相談にあっています。

業務内容

- ・ 犯罪や非行に関する相談
- ・ 犯罪・非行防止に関する情報提供と発信
- ・ 更生保護関係機関、団体との連絡調整
- ・ 保護観察対象者やその家族との面談
- ・ 保護司の研修
- ・ 更生保護関係団体相互の情報交換 など

相談予約の受付時間

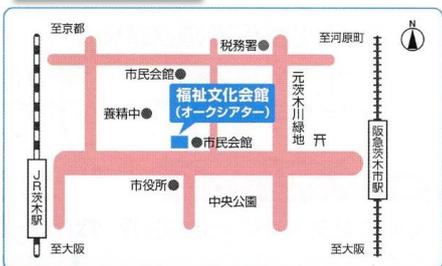
お気軽にご相談ください 秘密は厳守します
 来所の際は 必ず電話予約をお願いします

072-620-8310
 はんざいせろ

- ・ 月曜日〜金曜日 10時〜16時(祝日と年末年始除く)
- ・ 予約をすれば夜間、土曜日、日曜日に相談することも可能です

所在地

茨木市福祉文化会館1階
 (茨木市駅前4-7-55)



九月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九十二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
〒570-7506 三三七五 会〇七六三三 七九

台風一過、秋の虫たちが鳴き始めました。皆様には如何お過ごしでしょうか。令和元年九月のご案内を申し上げます。

第二百八十回

人生講座

日時 九月 八日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派輔教

山上正尊師



■山上(やまがみ)先生、四十九歳。堺市東区、旭照寺住職。本願寺派輔教。行信仏教文化研究所研究員。堺市民生児童委員。少年教化に力を入れておられ、ご尊院での子ども会活動は、非常に盛んです。しかも、教学の研鑽、会読、法話に雅楽までする、スーパー僧侶です。

●龍谷ミュージアム秋季特別展(9月21日(土)〜11月17日(日))

2019.9/21
2019.11/17

迎秋季特別展

日本の素朴絵

so boku e

絵画史を紐解くと、実はゆるさを「愛でる」志向は最近生まれたいものではなことがわかります。日本では昔から、さまざまな形式の作品がゆるやかなタッチでおおらかに描かれ、大切にされてきました。それらは「うまい・へた」の物差しでははかることのできない、なんとも不思議な味わいをもっており、見る人を虜にします。(中略)
本展では、名人の技巧や由緒ある伝来に唸るだけではない、新しい美術の楽しみ方をご提供します。

(月曜日休館(祝日の場合は翌日)) 午前10時〜午後5時
※最終入館受付は午後4時30分まで

彼岸会コンサート

清風宝樹をふくとときは
いつつの音声いだしつ
宮商和して自然なり
清浄勲を礼すべし

西福寺仏教婦人会9月の例会は、彼岸会(ひがね)コンサートです。グーダラムのダニーロ強さん、篠笛の佐藤和哉さんをお迎えします。

ダニーロ強さんは、高校生の頃、るんびに太鼓で活躍していました。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。運営協力金として千円、ご負担ください。「佛説阿彌陀經」のお勤め後、ご鑑賞いただきます。

日時: 9月20日(金) 午後2時〜3時半
場所: 西福寺本堂

毎月28日、昼2時OPEN! ぶっぶかふ!

西福寺ホームページはこちら
<http://runbini.com/saifukuji/>



浄土和讃に聞く ⑮

◆安楽無量の大菩薩

一生補処にいたるなり
普賢の徳に帰してこそ
穢国にかならず化するなれ

『浄土和讃』(註釈版559頁)

医学博士の養老孟司さんが、著書の中で「知るというのは危険をとまなう『自分は死なない』と思っているヒトへ『大和書房』と指摘されています。たとえば「あなたは癌ですよ、せいぜいもって半年です」と知らされたらどうか、と。あくまで癌と戦う、癌であることを受け入れる、自暴自棄になる。人によって反応もその程度もさまざまですが、もはや告知以前の私には戻りません。都合な真実を突き付けられたとき、受け止めるだけの力がなければ、どんな行動に走るか本人でさえ予測がつかないのです。

阿彌陀仏の本願力によって、浄土に至りついた菩薩がたには、真実の知恵と慈悲が備わっています。そのまなざしを穢国たるこの世に振り向けたとき、人々が苦しむ理由を知り、苦しみから救うに足るだけの力を持ち、実際に人々を救いたいと願うなら、浄土で安閑としておられませんか。居ても立ってもいられず、たちどころにこの世に還りきて、苦しみの業火にもだえる者たちを一人でも多く、救い導こうとはたらくはずです。たとえ、どれほど深い愛情で結ばれている親子であっても、助けを求めているわが子と知りながら、力が及ばないことがあります。自分自身の無力さを痛感するそのままだ、念仏の衆生を決して見捨てないという、阿彌陀仏の本願力の確かさを知らしめるのです。

▼阿彌陀仏の浄土の数限りない菩薩がたは、みな一生補処の位に至っている。これらの菩薩がたは大いなる慈悲みのはたらきをそなえており、必ず迷いの世界に還り来てあらゆるものを教え導くのである。

十月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL 072-622-3725

日が暮れて、どの家庭にも明かりがともる有難さを痛感します。

皆様には如何お過ごしでしょうか。

令和元年十月のご案内を申し上げます。

ほう おん こう ほう よう こん しゅう

報恩講法要厳修

日時 十月十九日(土) 昼二時・夜七時

二十日(日) 朝十時

講師 大阪大谷大学文学部教授

梯 信 暁 師

■報恩講は、宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとってもしっかりも大切なご法縁といえます。(本願寺ホームページより)

●報恩講の準備にご協力下さい

* * *

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。

お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしく願います。

10月15日(火) 午後7時 於西福寺本堂 おみがき(仏具を磨きます)

10月18日(金) 午後7時 於西福寺本堂 おかざり(供物をそなえます)

*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-622-3725

親鸞聖人を偲ぶ報恩講

10月19日(土) 夜7時からの初夜法要で

は、「奉讃大師作法(ほうさんだいしさほう)」が勤められます。「るんびに太鼓」のメンバー

による雅楽演奏の中、諸僧入堂。正信偈の

お勤め後、諸僧は立ち上がり念仏と共に散

華、色とりどりの花が舞います。回向句が

となえられ、諸僧退出。法要は終わります。

お勤めの後「親鸞聖人物語」のビデオ鑑賞。

10センチ足らずのかわいらしい紙粘土人形

が生き生きと親鸞聖人の

ご生涯を描き出します。

引き続き、梯先生の

心温まるご法話を聴聞い

たしましょう。



毎月28日、昼7時 OPEN かつがかり。



西福寺ホームページはこちら
<http://runbini.com/saifukuji/>

念仏奉仕団募集

ほんざん 本山を美しく。

本山での清掃奉仕を通し、

愛山護法の念を深める機会

として、本年も「茨木東組

念仏奉仕団」を募集いたし

ます。

有縁の皆さまのご参加を

お待ちしております。



日時: 12月9日(月)~10日(火) 1泊2日

費用: 16,000円

(帰敬式ご希望の方は26,000円)

締切: 10月30日(水) ※定員になり次第、締切。

集合: 安穩殿(旧称参拝会館) 2階・12時50分

宿泊場所: 京都東急ホテル

(京都市下京区堀川通五条下ル)

※お申し込み・お問い合わせは西福寺まで。

(電話 072-622-3725)

【持ち物】

聖典・念珠・門徒式章・健康保険証・

雑巾1枚・筆記具・雨具・洗面具等・

清掃奉仕できる服装(エプロン・

軍手・作業服等)



十一月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九十二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
〒567-0012 茨木市東太田二丁目九十二

荒ぶる自然を前に人知の至らなさを痛感します。皆様には如何お過ごしでしょうか。令和元年十一月のご案内を申し上げます。

◎人生講座はお休みです。各寺院の報恩講にお参り下さい。

- 称名寺(総持寺) 10月26日 14時 / 27日 10時
 - 安楽寺(太田) 10月26日 13時半 / 27日 13時半
 - 本照寺(富田) 11月1日 14時 / 2日 14時
 - 光明寺(総持寺) 11月9日 14時・19時
 - 万徳寺(氷室) 11月9日 14時・19時
 - 常見寺(五百住) 11月9日 10時・13時半 / 10日 10時・13時半
 - 称念寺(高田) 11月16日 13時半 / 17日 13時半
 - 顕証寺(八尾) 11月26日 / 27日
 - 常称寺(総持寺) 11月29日 14時 / 30日 14時
- *万徳寺様では9日夜、御伝鈔(宗祖生涯の行蹟が記述された詞書)が拝読されます。

令和元年台風第19号災害義援金(日本赤十字社)

令和元年台風第19号に伴う災害により、各地に甚大な被害が生じております。この災害で被災された方々を支援するため、左記のとおり義援金を受け付けております。

お寄せいただいた義援金は、全額を被災地に設置された義援金配分委員会にお届けいたします。皆さまの温かいご支援をよろしく願っています。

- ▼ 受付期間：2019年10月16日(水)～2020年3月31日(火)
- ▼ ゆうちよ銀行・郵便局：口座記号番号 0019081515005
- ▼ 口座加入者名 日赤令和元年台風第19号災害義援金

- ▼ 銀行振込：三井住友銀行 ずらん支店普通 2787555 / 三菱UFJ銀行 やまびこ支店普通 2105553 / みずほ銀行 クヌギ支店普通 0620464

※口座名義はいずれも「日本赤十字社(ニホンセキジュウジヤ)」

西福寺ホームページはこちら
<http://runbini.com/saifukuji/>



毎月28日、昼2時OPEN! ぶっぶが力!

報恩講

三〇一九念無忘 年度 本願寺津村別院 御親修

法要期間
11月11日(月)～
11月16日(土)

先般、当山報恩講では多数ご参拝いただき誠に有難うございました。堂内では、毎座お同行の皆さまの唱える正信偈の声に満ち、ご講師の梯先生からは、力強くも温かいご法話をお聞かせいただき、法味あふれる2日間となりました。

大阪本町、本願寺津村別院でも11月11日より報恩講が勤められます。日中法要は朝10時から、速夜法要は昼1時半からです。15日速夜、16日日中は、ご門主様御親修による法要と御親教となります。

なお、13日速夜までは佐々木高彰師(熊本)、14日からは内藤昭文師(大分)による法話が行われます。

御堂筋の銀杏色づくこの季節、有縁の皆さま、どうぞご参拝ください。

浄土和讃に聞く

16

◆十方衆生のためにとて

如来の法蔵あつめてぞ
本願弘誓に帰せしむる
大心海を帰命せよ

『浄土和讃』(註釈版559頁)

本願弘誓とは、阿弥陀仏の四十八願のうち、特に第十願を指す。

「たとひわれ仏を得たらんに、十方の衆生、至心信樂して、わが國に生ぜんと欲ひて、乃至十念せん。もし生ぜずは、正覚を取らじ」と。ここには、誰一人として見捨てはしないという阿弥陀仏の強い決意が顕れています。もし一人でも我が力及ばず、浄土に生まれることができない者がいたならば、私は仏とはならないのです。どれほど優れた薬でも、恐ろしく高価であったり、人によっては激しい副作用があったり、服用する方法が複雑だったりすると、病んだ身体を癒せないまま命終えていくこととなります。誰でも容易に手に入れることができ、服用しやすく、すぐに効く薬でなければ、すべての人を救うことなど到底できません。

今をさかのぼること十劫の昔、その願いは成就して、阿弥陀仏とされました。私たちが何のためにもなく称える「南無阿弥陀仏」の名号には、それほどの深い思いとご苦勞が込められていたのです。そのことに万分の一でも気づいたならば、もはや、その思いを試すような行いは、はばかれます。縁に触れたらどんな恐ろしいことをしでかすか分からない身と知らされながら、どれほどの悪縁が催しても、阿弥陀仏をこれ以上悲しませたくないの思いから、踏みとどまろうとするのが、真実の念仏者と言えましょう。

▼浄土の聖者がたはすべての世界のもののために、あらゆる仏がたの功徳をその身にそなえ、阿弥陀仏の本願を勧めてくださっている。海のように大いなる慈悲の心をそなえている大心海に帰命するがよい。

十二月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL 075-375-3511 FAX 075-375-3511

世界6カ国から集結し、ラグビーワールドカップ2019日本大会で素晴らしい結果を残した日本代表チームに、進むべき未来の姿を見たように思います。
令和元年十二月のご案内を申し上げます。

第二百八十一回

人生講座

日時 十二月 八日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

高島 幸博 師



■高島(たかしま)先生、三十八歳。茨木市沢良宜浜、専念寺衆徒。一般家庭に生まれ育ち、龍谷大学仏教学科入学が縁となって、大学卒業後就職するも、30才の時に得度し僧籍を取得。翌年、専念寺へ入寺。明るくまじめな人柄が、次期住職としてご門徒のみならず宗門の期待を集めています。
■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。

●本山成人式のご案内

新成人の皆さん、おめでとごうございます。

本願寺では、1月11日(土)に皆さんが新成人となられたご縁として、親鸞聖人のみ教えに出遭っていただきたいとの願いのもと、「本山成人式」を開催いたします。

●日時 2020年1月11日(土)

●会場 本願寺御影堂京都市下京区堀川通花屋町下ル

●参加対象 1999年4月2日から2000年4月1日までの間に生まれた新成人の方

●参加費 無料(※帰敬式受式希望者は冥加金3,000円が必要です)

●応募方法 所定の申込用紙に必要事項を明記の上、寺院活動支援部(組織教化担当)内「本山成人式」係までお申し込みください。(電話 075-375-1518 FAX 075-351-1211)

●募集締切 2019年12月20日(金)

年末年始のお参りについて

誠に勝手ながら左記の通り、年末年始は、お逮夜参りをお休みいたします。

この期間内に月命日を迎えられる方は、12月30日までの都合の良い日をご連絡いただければ、お伺いいたします。もしくは、来年1月1日昼一時より勤まる元旦会にご参拝下さい。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

年内：12月30日(月)まで
新年：1月5日(日)から

*葬儀など緊急の際は、ご遠慮なく
まずお寺までご連絡下さい。

TEL 072-622-3725

毎月28日、昼2時OPEN! ぶっぴかF1



西福寺ホームページはこちら
<http://runbini.com/saifukuji/>

浄土和讃に聞く ⑰

◆観音・勢至もろともに

慈光世界を照曜し

有縁を度してしばらくも

休息あることなかりけり

『浄土和讃』(註釈版559頁)

かつて親鸞聖人は、20年に及ぶ比叡山でのご修行に行き詰まり、京都・六角堂に100日の参籠を始められました。聖徳太子創建と伝わる六角堂に籠もること95日目の暁、親鸞聖人の前に救世観音菩薩が現われます。阿弥陀仏の慈悲の徳をあらわし、煩惱に縛られ苦悩する人々を自在に救うという菩薩の示現が契機となって、吉水の法然上人のもとを訪ね、専修念仏の教えに帰入することになります。親鸞聖人は、観音菩薩が聖徳太子の本地であると信じ、ご生涯を通じて、和国の教主と太子を讃嘆されました。

また、「智慧第一」と称され、念仏の教えをひろめられた法然上人のことを、阿弥陀仏の智慧の徳をあらわす勢至菩薩の化身であると、信じておられました。聖徳太子、法然上人、それぞれの本地である観音・勢至二菩薩の導きがなかったならば、阿弥陀如来のご本願に遇うことはなかったと述懐されています。

しかし、これら二菩薩の願いは、もろもろの雑行雑修自力の心を捨てて、ただただ阿弥陀仏の名を称えることにあるというのです。ですから、仏法を広く世に伝えしめた大いなる恩に感謝することはあっても、阿弥陀仏の脇侍たる二菩薩に心を寄せるべきではありません。一瞬たりとも休むことなく救済活動を続ける阿弥陀仏を私たちが真心をもって讃仰し、お念仏申すことこそ、これら二菩薩の何よりの願いなのです。

▼観音菩薩と勢至菩薩は、ともに慈しみの光で迷いの世界を明るく照らし、縁あるものを救い取って、少しの間も休むことがない。